

第87回クリエイティブサロン

久留米・八女フィールドワーク2024

KJ GPT×アイデアソンワークショップレポート

理事 安松健



フィールドワーク1件目は、久留米緋(かすり)の織元の[下川織物](#)。2代目下川富彌さん、3代目下川強藏さん、[Coppolart古賀巴](#)さんが迎えてくださった。まずは工房を見学、下川さんの説明に質問が止まらない。

お部屋に移動して、美味しい八女茶をいただきながら、下川さんの職人としての、アーティストとしての、そして経営者としてのお話を聞く。下川さんのものづくり、そして経営。伝統とは守るものではなく打って出ること、革新の連続こそが伝統なんだといつも感じさせられる。

そして、次々に出てくる下川織物のグローバル・コラボレーション案件のお話。久留米市は人口約30万人の福岡県の中核都市。その久留米市街から車で南へ約30分の人口約4万人の八女市に下川織物はある。そこに世界中から訪問者が来る、絶えず来る。八女というローカルで暮らし働き、そしてすぐそこにグローバルがある。大都市で働いているより、よほど世界が近い、八女の隣に世界があるという「ものづくり・経営」をされていることを感じざるを得ない。



午後は二手に分かれて、まずはランチを[坂田織物カフェ](#)、[とんかつ肉料理吉岡](#)で。

そして、[藍染緋工房山村健](#)、[地域文化商社うなぎの寝床](#)、[八女民俗資料館](#)を訪問。

案の定、話が盛り上がり過ぎて、予定時間をオーバー。

KJ法の探検の五原則、「なんだか気にかかることを」「飛び石伝いに」「ハプニングを逸せず」を実践。

[やかまし村のギャラリー](#)に再度全員集合。そこで、[株式会社未来工房](#)代表取締役 金原望さんに、未来工房の家づくりをお伺いする。写真では伝わりにくい、これほどの木造の家づくりみたことがないと、素人目にもわかるほどで、さらに説明を聞くと、見えない部分や、建て方、木材に対する取り組み、社員に対する取り組みなどなど、話題は尽きない。家を建てた後に建主が集うコミュニティがあるというのも聞いたことがない。その拠点の一つとしてのやかまし村のギャラリー。家づくりを通じた暮らしづくり、文化づくりを実現されている。



午後の後半はワークショップ。フィールドワークで収集したデータを、本学会会員 大塚さんらが開発された[KJGPT](#)にてグルーピング。処理速度とアウトプットのクオリティに、日本創造学会メンバーも驚愕。

そして、そのアウトプットを活用したアイディエーションを、本学会理事 [石井力重](#)先生のファシリテーションで。石井先生はいつも[スライドを公開](#)されている。

シンプルに研ぎ澄まされたワークの進め方。一般的にアイデアWSは、いろいろ工夫したアクティビティをやりがちだが、それが活発なアイディエーションにつながらないことも少なくない。必要なことをシンプルに進めるところにノウハウがあることを実感。



ワークショップ後は、みんなで夕食・懇親会@やかまし村のギャラリー